

中央リニア新幹線構想「労働組合と協議しない」 社員の生活に責任を持たない

労働組合は口出すな of 会社を変えよう！！

本部は9月2日、協約・協定改訂に向け第3回団体交渉を行い、労使関係部分の11項目について議論を行ないました。しかし会社は、この間述べてきたことを繰り返すのみであり、極めて不誠実な内容に終始しました。

会社の主張は、労働組合との協議を軽視し、また存在を否定するものです。特に5.1兆円もの巨額な建設費を自己負担し、2025年に開業としている中央リニア新幹線構想は、JR東海の経営を左右する巨大プロジェクトであり社員の雇用・労働条件に直結するものです。にも関わらず「労働組合と協議・説明はしない」との姿勢を明らかにしました。「会社のやることに労働組合は口出すな」ということで、社員の生活に責任を持たないということです。

また現在、JR東海労と会社間において基本協約が未締結の状態が続いているため直ちに締結するよう求めたことに対し、会社は「協約で協議の場を設け双方が合意し締結するものであり、考え方についてはこれまでも説明した通りである」との回答を繰り返しました。「新しい人事賃金制度の遵守」「主任レポート拒否の指導はしない」ことを表明し、議事録として文書で確認することが「締結の条件」であるとしました。最高裁判所で不当労働行為が5回も認定されているにも関わらず、労働組合活動への介入をいまだに繰り返しているのです。

さらに、最高裁判所から不当労働行為として認定されていることに対し「これまでも、これからも不当労働行為は一切しない」と全く反省すらしていません。このような会社姿勢は、職場内でのビラ配りなど正当な組合活動に対する介入・弾圧として現われています。

働きやすい職場を実現するために奮闘していきましょう。

第3回団体交渉開催！